



謹賀新年

皆様方には輝かしい新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、平素より、西条市連合自治会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。本年も自治会活動にご協力の程よろしくお願いいたします。

西条市連合自治会 役員一同

西条市連合自治会役員紹介



会長
難波江 覚
(東予支部長)



副会長
徳増 稚養一
(西条支部長)



副会長
福田 昭芳
(丹原支部長)



副会長
佐伯 哲也
(小松支部長)



会計
長井 昭次
(東予支部)



監事
徳永 光
(東予支部)



監事
杉原 益男
(丹原支部)

★西条市の自治会加入率 (令和6年6月1日現在)

地区名	自治会数	総世帯数	自治会加入世帯数	自治会加入率(%)
西条	339	26,689	13,559	50.80
東予	118	13,690	8,589	62.74
丹原	32	5,125	3,500	68.29
小松	27	3,752	2,284	60.87
西条市計	516	49,256	27,932	56.71

令和6年度
総務大臣表彰 自治会等地縁による団体功労者
おめでとうございます



徳増 稚養一 様(神戸)
西条市連合自治会副会長
神戸校区連合自治会会長等



石水 公文 様(西条)
西条市連合自治会理事
西条校区連合自治会会長等

西条市連合自治会の活動

■ 西条市連合自治会総会を開催しました

令和6年7月3日、西条市役所において西条市連合自治会総会を開催しました。議事の審議のほか、自治会功労者への表彰(会長表彰、会長感謝状)が行われました。



表彰式にご出席いただいた皆様

〔佐伯 静雄 様、渡邊 康男 様、加藤 千代子 様
浅木 功 様、豊島 定二 様〕

○会長表彰 おめでとうございます (自治会長等に10年以上在職)

西坂 恵美 様(神拝) 清水 政俊 様(壬生川)
内田 政則 様(氷見) 高橋 亨 様(壬生川)
浅木 功 様(玉津) 豊島 定二 様(国安)
脇 基誌 様(壬生川) 大橋 光雄 様(楠河)

○会長感謝状 おめでとうございます (自治会長等に5年以上在職)

野田ゆり子 様(神拝) 渡瀬 賢治 様(国安)
宇佐美清孝 様(神戸) 村上 敏行 様(吉岡)
野村 守 様(神戸) 高瀬 直紀 様(庄内)
加藤千代子 様(神戸) 行元 正治 様(丹原)
菅 稔 様(神戸) 渡辺眞佐志 様(中川)
桑名 義史 様(大保木) 渡部 純三 様(中川)
渡邊 康男 様(壬生川) 玉井 文明 様(中川)
武田 定久 様(壬生川) 曾我部君雄 様(桜樹)
稲見 嘉信 様(壬生川) 佐伯 静雄 様(桜樹)

各地区自治会の活動紹介

■「田野小学校ふれ愛コンサート 開催」

田野地区連合自治会（旧丹原町）

田野地区連合自治会と田野地区防犯協会が主催の「田野小学校 ふれ愛コンサート」が11月27日に田野小学校の体育館で開催されました。

田野小学校ふれ愛コンサートには、田野保育所園児8名・田野小学校児童72名、地域の方々が約120名が参加して盛大に行われました。

「ふれ愛コンサート」の前半部では、警察官の紙芝居「いかのおすし※」をはじめ特殊詐欺事案の被害防止などを話していただき、後半部に県警察音楽隊による演奏となりました。

県警察音楽隊の演奏は、人気のアニメソングが中心だったので園児・児童はおなじみの曲に聴き入っていました。また、カラーガード隊によるマーチングに会場内は驚きの声があがり、終盤になると一振りごとにカラーガードの色や文字が変わり、「みんなで交通安全」が表示された演出で会場内が湧きあがりました。これからも地域のみさんと協力して、地域活動を行っていきます。

※「いかのおすし」小さな子どもたちを誘拐などの犯罪から守るための標語紙芝居



演奏の様子

未来に伝えたい、伝統文化、自然

■「62番札所 宝寿寺 荒廃と復興の歴史 令和の再興の道」 宝寿寺（旧小松町）

四国霊場62番札所・天養山宝寿寺は、聖武天皇の勅願によって天平年間(729年－748年)大国主大神ら三神を白坪の里にお祀りし、その際、道慈律師によって、法楽所として傍らに建立され金剛宝寺と名付けられたのが始まりと言われています。それ以降、度重なる荒廃と復興の歴史が繰り返されています。

大同年間に（806年－810年）お大師様がこの地に留まれ、光明皇后を模した十一面観世音菩薩像を刻んで本尊とし、寺名を宝寿寺に改めたと伝わります。その後、川の氾濫から堂宇を再建した天養2年（1145年）に山号を今の『天養山』と改めました。

宝寿寺は、それからも苦難の道を歩み、天正13年（1585年）には羽柴秀吉による四国攻めで荒廃し、寛永13年（1636年）宥伝上人によって当寺だけ新屋敷の現在地付近に移されて再興され、その後の延宝7年（1679年）藩主の命により洪水を避けるために今度は神社がお寺の横に移転されます。

また、明治初期の廃仏毀釈によってお寺は神社と分離され廃寺となり、大石龍遍上人によって明治10年（1877年）に神社の南隣に移し再興され、大正10年（1921年）には予讃線鉄道工事にともない、さらに南側の現在地に移転し、国道の整備により現在の境内地になったと聞いています。そして何より、平成の時代に四国八十八ヶ所霊場会から退会したことで、62番札所が二つ存在するという大きな騒動に発展しました。その際には、関係者をはじめお遍路さんや地元の方々にご心配をおかけしました。現在は四国八十八ヶ所霊場会に加入し他の霊場と同じようにお遍路さんを受け入れています。

ただ、本堂や庫裏は荒廃しており修復にはかなりのお金と時間を要します。寺宝も幾つか流出をしており、一柳公の墨書を地元の心ある方が見つけてくれて買い戻す事ができ、現在は西条市の指定文化財として市に寄託しています。

大勢の方のご支援を頂きながら少しずつですが境内の整備を進めているところですので、楽しみにお待ちください。

最後に、境内の案内をさせていただきますと、宝寿寺のお大師様は厄除けに靈驗あらたかであり、年齢の数だけ「南無大師遍照金剛」と唱えることでご利益を受けることができます。境内の線香立ての天井には沢山の厄除けの風鈴が奉られています。また、厄捨て場という場所が厄除開運や道中安全を祈願して厄除け玉を投げ込む人気の場所になっていますので、一度体験してみてもはどうでしょうか。「失せ物が出てくる」「合格祈願」にご利益がある稲荷社があり多くの参拝者が参詣しています。子供連れでも楽しんでいただけるように小さなブランコも設置していますので、お気軽にお立ちよりください。

参拝者の皆さんに「いいお参りができたな」「楽しくお参りできたな」と思ってもらえるようなお寺にしていきたいので、引き続きよろしくお願いします。



宝寿寺本堂



宝寿寺風鈴

各地区自治会の活動紹介

■「コミュニティ・スクールの始動 ～保護者や地域とともにある学校～」

庄内地区連合自治会（旧東予市）

庄内小学校では昨年度(令和5年度)より、コミュニティ・スクールを本格的に開始しました。コミュニティ・スクールに登録している地域の「学校応援ボランティア」の方々が、授業や学校行事に参加し、児童の学習の支援や先生の指導のお手伝いをしています。例えば、庄内地区に詳しい方が地域や歴史のお話をしたり、交通安全教室や遠足の引率、プール監視などの手伝いをしたりするなど、学校生活の様々な活動を補っています。また、休日に植物の水やりやうさぎの世話をししてしており、学校側もとても助かっているそうです。他にも、庄内小学校区は、車の通りが多く、大きい道がいくつかあるため、毎日交通指導をして、地域の大人が積極的に見守っています。今後も、学校応援ボランティアを中心に自治会をはじめ、地域のみんなで庄内小学校を支えていきたいと思っています。



交通安全指導



遠足の引率補助



外部授業(地域・歴史)活動

■「西条支部壮年ソフトボール大会 3年ぶりの優勝」

大町連合自治会(旧西条市)

10月末というのに暑い日が続いていた27日、予報は雨でしたが、天が味方してくれたのでしょうか、最高のソフトボール日和の中で、我が大町連合自治会選抜チームが、西条市連合自治会 西条支部主催の壮年ソフトボール大会で3年ぶりの優勝という素晴らしい成果を収めてくれました。

大町連合自治会では、単位自治会対抗で、毎年7月初めに大町ソフトボール大会を行っています。今年は12チームの参加があり、猛暑の中、20歳代から70歳代までの幅広い世代が、各自治会の声援を受け熱戦を繰り上げました。日頃の野球熱が今回の優勝に結び付きました。

大町連合自治会の他の活動としては、健康を重視する活動として、春の大町校区区民運動会と、4回の軽スポーツ大会とで体力づくりを行っております。また、文化面では、夏に大町盆踊り大会、12月初旬に大町公民館文化祭を行っており、大町小学校PTAや公民館サークル会の方々のお手伝いを受け、地域文化の継承と交流を兼ねた行事として、多数の参加があり大いに盛り上がっています。また、健全育成では、三世代交流事業として、子ども達を中心に据え、家族全体の防災意識向上を目的とし、自宅から公民館までの道を、家族で歩き、「ここは、橋があるから増水した時は危ない」「ブロック塀には近寄らない」など、具体的に危険箇所を話し合う現場主義の事業も行っています。

大町連合自治会は、単位自治会38自治会、世帯数2,767世帯で構成されております。公民館サークル会は53サークルあり、公民館はいつも地域の人で賑わっています。しかし、このような活動的な地域でも、少子高齢化に加えて、自治会離れの傾向もあり、未加入者・脱会者の増加が見られます。このような状況の中、必ず近い将来、その存在が見直され、必要とされるであろう単位自治会・連合自治会の在り方を模索しつつ、自治会員の声を中心に据えて、自治会活動の充実に、日々取り組んでいます。



壮年ソフトボール大会優勝チーム



大町ソフトボール大会の様子

西条市連合自治会の活動

自治会長研修を開催しました

令和6年11月12日、西条市中央公民館において、西条市連合自治会が主催する自治会長研修を開催しました。

基調講演では、講師に愛媛大学社会共創学部准教授の笠松 浩樹先生を招へいし、「次世代と語る自治会のあり方」をテーマに、自治会をめぐる現状や課題、課題解決に向けた方向性についてご講演いただきました。その後、西条市出身の小原颯さん(22歳)と石川百永さん(19歳)を交えて、意見交換を実施しました。

○講演内容

①社会や価値観の変化

- ・近所づきあいや人々の結びつきが希薄化

②自治会に対する世代間ギャップ

- ・若い世代は自治会に革新性があると感じていない

③地域活動組織による地域運営

- ・自治会＝家単位や世帯主層の参加、代表者の持ち回り、全戸一致
- ・地域活動組織＝個人単位や若者・女性・子どもの参加、リーダー群による運営

④地域活動組織の活動事例（一部紹介）

- ・集落活動センター四万川（高知県梹原町）

ガソリンスタンドが廃業になったことを機会にガソリンスタンドと店舗を運営（店舗はホームセンターの品物と住民による商品の販売）



会場の様子

○意見交換の内容

Q 自治会にどのような印象をもっていますか？

- ・自治会に関する情報が伝わってこないため、分からない

Q 西条市や自分の地域・自治会でしたいことはありますか？

- ・学校に行けない子どもの受け入れ、カラオケ大会など



講演の様子

<参加者の感想(一部紹介)>

- 自治会の研修で若い人の意見を聞けて良かった
- 世代間で考え方が違うみたいなので、そこが参考になりました
- 自治会のあり方や活動内容等が時代により変わっている事を改めて教えられた
- 地域活動組織の話が心にとまりました。社会の変化や価値観の違いなど、自分の自治会の現状を考え、まずは発信する（ささやかなコミュニケーションから始める）ことを考えています

自治会に関するアンケートを実施しました

西条市連合自治会では、毎年市内の不動産関係のイベントにて自治会加入促進のための啓発活動を行っています。本年度も、今後の加入促進活動の参考とするため、9月29日の「はとマルシェ」、10月5日の「西条不動産フェア2024」にて来場者を対象にアンケートを実施し、166名の方にご回答をいただきました。

Q 自治会に加入して良かったことは何ですか？（一部紹介）

- 地域の行事に参加できました。
- 地域の情報や活動がよくわかる。
- 近隣の人との結びつきが強くなった。
- 地域の情報を共有できて、社会貢献できると思います。
- 移住して13年ですが、地域の方々と知り合えて、町が好きになりました。



はとマルシェの様子

Q 自治会にどのような活動があれば良いと思いますか？（一部紹介）

- 伝統行事の継承。
- もっと気軽に参加できる交流会。
- みんなで運動したり、季節ごとイベントなど。
- 地区ごとの防災について、詳しく説明してほしい。
- 横のつながりができる（老若男女参加できる）催しがあればいいと思います。



不動産フェア2024の様子